

第762回: 緋聞の研究

隣邦に遠慮し、中国の秦剛・外交部長(以下外相)の「失踪のウワサ」について、コラムを書くのを避けてきたが、「失踪」からそろそろ1か月経つことから、恐る恐る触れてみよう。中国の検索エンジン「百度」では、彼の経歴が概ねこう記されている。

秦剛(男 漢族 1966年3月生) 国際関係学院、国際政治学科卒業 党中央委員、国務委員、外交部長
1988年 北京外交人員服務局 入社
92年 外交部西ヨーロッパ局 三等書記官
05年 外交部スポークスマン
10年 英国駐箚公使
18年 外交部副部長
21年 米国駐箚大使
22年 外交部長
23年 国務委員

秦剛は「国際関係学院」の出身。ここは、泣く子も黙る中国国家安全部の傘下にあるとも云われる超一流大学で、これまで多数の外交官を輩出している。秦剛は主として欧米畑を歩み、外交部の報道官を約8年務めた後、18年に外務次官に昇格し、21年7月に駐米大使にまで上り詰めたエリート外交官だ。

彼の快進撃は続き、1年後の昨年12月30日、中国の国営中央TVは「全国人民代表大会(=全人代)の常務委員会が、駐米大使の秦剛を新外相に任命した」と伝えた。

これに先立つ昨年10月の中国共産党大会で、外交トップの楊潔篔(政治局委員)が引退し、王毅(外相)が中央委員から政治局委員に昇格したことから、中国の外交は従前の「楊潔篔—王毅ライン」から、新たに「王毅(政治局委員)—秦剛(外相)ライン」に移行するというのが大方の見方であった。

その見立てが予想通りに的中したのはよかったのだが、ふつう中国の閣僚は3月の全人代(年次総会)で任命されるものであり、全人代前に「全人代常務委員会ルートでの任命」のは初の樁事だった。

そもそも、駐米大使から(外務次官をスキップして)外相に就任すること自体が極めて珍しいことだ。任命手続きも中間ポストも揃ってショートカットするとは習近平主席がよほど彼のことを信頼しているか、それとも陰悪化する一方の米中関係を修復するために、エースの秦剛を外相に抜擢し、米国に明け広げの秋波を送ったかの、いずれかだったのであろう。

その秦剛外相が「目前已在公衆視野消失 20 多天」・・公の場から姿を消して20数日となる。中国外務部のホームページによると、秦剛外相は6月25日に北京でスリランカ外相、ベトナム外相、ロシア外務次官と相次いで会談した後に姿が見えなくなった。米中関係が悪化する中、米国から解決の「落としどころ」求めて中国にやって来たイエレン米財務長官(7月7日~9日)や、ケリー米大統領気候変動担当特使(7月16日~19日)の前に、中国の外相が姿をみせないとは異常な事態だ。

外交部の報道官は、7月11日の記者会見で、秦剛外相の健康上の問題に言及し、ASEAN 関連の外相会議には秦剛の上司の王毅政治局員が出席すると発表した。そんなタイミングで香港華字紙・星島日報が「秦剛外相はコロナ陽性のため休養中、近々業務に復帰するだろう」と報じたため、「なあんだ、新型コロナ

最終ページに重要なお知らせ「注意事項」がありますので必ずお読みください。

感染だったのか」と失踪騒ぎは一件落着と思われたのだが、彼のコロナは快癒せず、それから既に 2 週間が経過しており、いま拙稿を書いている 21 日現在も、秦剛さんの行方は不明のままだ。

最近、台湾紙の聯合報などが「秦剛外相は、香港フェニックステレビの著名女性ジャーナリスト・傅曉田（フシャオテン 40 歳）との特殊な関係が原因となり、いま当局の取り調べを受けている」などと報道し、これに勢いづいた香港や台湾のツイッターなどで、傅女史と秦剛外相とのツーショット画像や動画が多数出回っている。この二人、絵に描いたような美男美女のカップルで、メディアが大騒ぎするのも宜なるかな。

ネット上でウワサの「関係」とは、云うまでもなく不倫問題のこと。中国語で男女のスキャンダルを「緋聞（フェイウエン）」と呼ぶ。傅曉田キャスターは、英ケンブリッジ大学チャーチル学院留学などを経て、09 年にフェニックス TV に入社、英国駐在を経て帰国後は看板キャスターとして活躍し、世界の大物政治家たちと対談してきた才女である。そんな彼女と駐米大使時代の秦剛とが、わりない仲となり、彼女は昨年 11 月に、秘密裏に子供を出産したという噂まで流れるように。

火中の栗を拾う立場の中国外交部だが、常日頃から威勢のいい「戦狼外交」の攻撃口調がすっかり影を潜め、不倫や隠し子などの報道に対し激怒・反発などの姿勢が控えめなのが気になる。

極めて興味深かったのは、17 日の外交部記者会見における毛寧報道官の対応であった。

海外メディアから「秦外相はいつ復帰の予定か」と質問が出たのに対し、彼女はそっけなく、「没有可提供信息（提供できる情報はありません）」と答えたのみ。

次に、秦剛外相失脚の噂につき、海外メディアから秦剛外相と香港フェニックス TV 記者との不倫関係や、彼女の婚外子出産などに質問が飛ぶと、毛寧報道官は「我不了解你説的情况（あなたのおっしゃる事情は知りません）」と答えた。

更に「秦剛氏は現在も外交部長ですか、状況は如何ですか？」と追求された毛寧報道官は、「第 1 の質問については外交部のホームページで確認することをお勧めします。第 2 の質問ですが、中国の外交活動は全て正常に行われています」と、人を食ったような回答をした（そこまで云われたら、こちらもその気になり、報道官の勧めに従い中国外交部のホームページを覗いてみたが、7 月 21 日時点では、秦剛氏が外交部長として紹介されている）。

露骨な質問攻めに遭った報道官には気の毒だったが、彼女の表情を見る限り、「荒唐無稽な与太話」などと激怒する雰囲気は感じられなかった。報道官が笑いを漏らす場面もあり、ひたむきに外相をフォローする雰囲気ではなかったことから推測するに、秦剛外相には不吉の卦が出ているような？何らかの事情聴取を受けており、嫌疑が晴れば公務に復帰する可能性も理論的にはあり得るのだが・・・。（了）

文中の見解は全て筆者の個人的意見である。

2023 年(令和 5 年)7 月 21 日

筆者プロフィール

杉野光男

東洋証券株式会社 主席エコノミスト

一橋大学商学部卒、三菱信託銀行(現三菱 UFJ 信託銀行)入社、上海華東師範大学へ留学

同行北京駐在員、上海駐在員事務所長、理事中国担当部長を経て、2007 年より現職

著書 日本^の常識は中国^の非常識(時事通信社)、中国ビジネス笑劇場(光文社)等

最終ページに重要なお知らせ「注意事項」がありますので必ずお読みください。

2/3

ご投資にあたっての注意事項

外国証券等について

・外国証券等は、日本国内の取引所に上場されている銘柄や日本国内で募集または売出しがあった銘柄等の場合を除き、日本国の金融商品取引法に基づく企業内容等の開示が行われておりません。

手数料等およびリスクについて

①国内株式等の手数料等およびリスクについて

・国内株式等の売買取引には、約定代金に対して最大 1.2650% (税込み) の手数料をいただきます。約定代金の 1.2650% (税込み) に相当する額が 3,300 円 (税込み) に満たない場合は 3,300 円 (税込み)、売却約定代金が 3,300 円未満の場合は別途、当社が定めた方法により算出した金額をお支払いいただきます。国内株式等を募集、売出し等により取得いただく場合には、購入対価のみをお支払いいただきます。国内株式等は、株価の変動により、元本の損失が生じるおそれがあります。

②外国株式等の手数料等およびリスクについて

・委託取引については、売買金額(現地における約定代金に現地委託手数料と税金等を買いの場合には加え、売りの場合には差し引いた額)に対して最大 1.1000% (税込み) の国内取次ぎ手数料をいただきます。外国の金融商品市場等における現地手数料や税金等は、その時々々の市場状況、現地情勢等に応じて決定されますので、本書面上その金額等をあらかじめ記載することはできません。

・国内店頭取引については、お客さまに提示する売り・買い店頭取引価格は、直近の外国金融商品市場等における取引価格等を基準に合理的かつ適正な方法で基準価格を算出し、基準価格と売り・買い店頭取引価格との差がそれぞれ原則として 2.50% となるように設定したものです。

・外国株式等は、株価の変動および為替相場の変動等により、元本の損失が生じるおそれがあります。

③債券の手数料等およびリスクについて

・非上場債券を募集・売出し等により取得いただく場合は、購入対価のみをお支払いいただきます。債券は、金利水準の変動等により価格が上下し、元本の損失を生じるおそれがあります。外国債券は、金利水準の変動等により価格が上下するほか、カントリーリスクおよび為替相場の変動等により元本の損失が生じるおそれがあります。また、倒産等、発行会社の財務状態の悪化により元本の損失を生じるおそれがあります。

④投資信託の手数料等およびリスクについて

・投資信託のお取引にあたっては、申込(一部の投資信託は換金)手数料をいただきます。投資信託の保有期間中に間接的に信託報酬をご負担いただきます。また、換金時に信託財産留保金を直接ご負担いただく場合があります。投資信託は、個別の投資信託ごとに、ご負担いただく手数料等の費用やリスクの内容や性質が異なるため、本書面上その金額等をあらかじめ記載することはできません。

・投資信託は、主に国内外の株式や公社債等の値動きのある証券を投資対象とするため、当該金融商品市場における取引価格の変動や為替の変動等により基準価額が変動し、元本の損失が生じるおそれがあります。

⑤株価指数先物・株価指数オプション取引の手数料等およびリスクについて

・株価指数先物取引には、約定代金に対し最大 0.0880% (税込み) の手数料をいただきます。また、所定の委託証拠金が必要となります。

・株価指数オプション取引には、約定代金、または権利行使で発生する金額に対し最大 4.400% (税込み) の手数料をいただきます。約定代金の 4.400% (税込み) に相当する額が 2,750 円 (税込み) に満たない場合は 2,750 円 (税込み) の手数料をいただきます。また、所定の委託証拠金が必要となります。

・株価指数先物・株価指数オプション取引は、対象とする株価指数の変動により、委託証拠金の額を上回る損失が生じるおそれがあります。

ご投資にあたっての留意点

取引や商品ごとに手数料等およびリスクが異なりますので、当該商品等の契約締結前交付書面、上場有価証券等書面、目論見書、等をご覧ください。

最終ページに重要なお知らせ「注意事項」がありますので必ずお読みください。